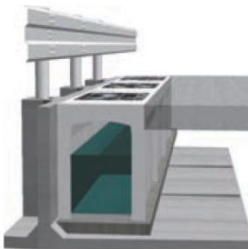
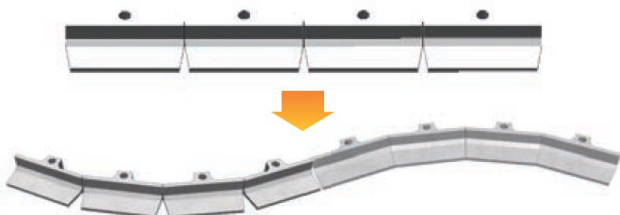
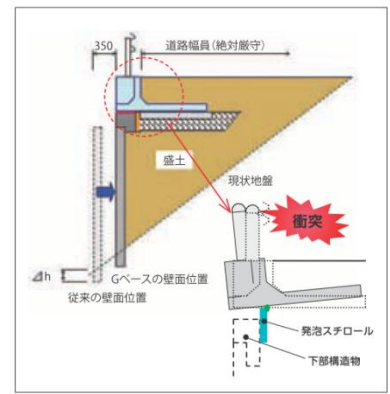


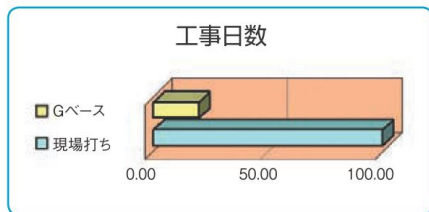
整理 No.	91	分類	その他																														
会社名	株式会社 ホクコン																																
担当者	土田典幸																																
連絡先	TEL	022-393-5650	FAX 022-393-5651																														
	E-mail	n_tsuchida@mail.hokukon.co.jp																															
技術の名称	防護柵用基礎ブロック「G ベース」																																
概要 (150字程度)	<p>「G ベース」は、品質・工期・安全性・施工性・経済性・メンテナンスなどあらゆる面で現場打ち工法と比べて多くの長所を持った画期的なたわみ性防護柵基礎ブロックです。車両の衝突荷重を考慮し安定・構造試験を行うことにより、その安全性が確認されています。たわみ性防護柵 C 種から SC 種に対応しています。</p>																																
技術登録等	NETIS HR-050011-V																																
技術の概要	<p>1 下部構造物の直上に設置ができます。 G ベースは、下部構造の上部に緩衝材を敷設しその上に直接設置が可能のため、従来工法に比べ、余幅の用地を必要としません。 ①必要用地が小さくなり用地費用が削減できる。 ②壁面積、盛土量が削減可能。 また衝突事故が発生した場合であっても中空に設置されたGベースは下部構造物に衝突荷重を与えません。「P.123実験報告」をご参照ください。</p> <p>2 豊富なバリエーション ①側溝を抱きかかえた計画に対応が可能。 ②現場打ちと同一高さの規格を保有。 ③遮音壁、標識など特殊部の対応が可能。 「P.124施工例」をご参照ください。</p>  <table border="1" data-bbox="726 1478 1364 1612"> <thead> <tr> <th></th> <th>必要内高※</th> <th>H400</th> <th>H500</th> <th>H600</th> <th>H700</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由勾配側溝</td> <td>495mm以上</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>道路用側溝</td> <td>560mm以上</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>円形側溝</td> <td>380mm以上</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現場打基礎</td> <td>700mm</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※必要内高は各側溝の最低規格高に基礎(50mmと仮定)を考慮したものである。</p> <p>3 ドライ施工で工期短縮 ①ボルト連結でラクラク施工。 ②標準製品を使用した曲線施工対応。 (R15mまで対応可能です)</p> 				必要内高※	H400	H500	H600	H700	自由勾配側溝	495mm以上	-	○	○	○	道路用側溝	560mm以上	-	-	○	○	円形側溝	380mm以上	○	○	○	○	現場打基礎	700mm	-	-	-	○
	必要内高※	H400	H500	H600	H700																												
自由勾配側溝	495mm以上	-	○	○	○																												
道路用側溝	560mm以上	-	-	○	○																												
円形側溝	380mm以上	○	○	○	○																												
現場打基礎	700mm	-	-	-	○																												
次頁あり																																	



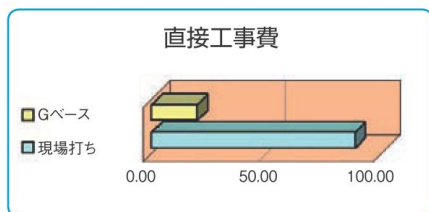
技術の概要
(つづき)

4 維持管理も容易

万が一の事故による損傷も早期復旧



●復旧に要する工期は20%



●現場打ち工法の復旧費の25%

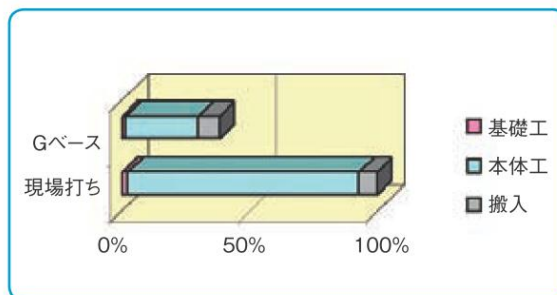


事故対応事例

事故後の防護柵及びGベースの取り替え事例。
わずか2日で復旧が完了しました。

5 環境貢献

CO₂排出量の低減による環境貢献



●CO₂排出量は現場打ち工法の40%

10m当たりの排出量の差を金額換算すると…約6,100円/10m相当。

6 幅広い柔軟な対応

- ◎ガードレールをはじめ、ガードパイプ、ガードケーブルにも対応が可能です。
- ◎曲線施工R15m対応以外にも、屈曲部などの対応も可能です。
- ◎縦断勾配に合わせた設置が可能で、縦断勾配10%まで対応可能です。
- ◎防護柵始末端の縁部対応も可能です。
- ◎Gベースは、その他様々なニーズにお応えできる製品です。最寄りの営業所にお問い合わせください。

お問合せや資料請求などは、
お電話または弊社ホームページよりお願い致します。

■ホームページ：<http://www.hokukon.co.jp/>

■カタログ請求：<http://www.hokukon.co.jp/ga/index.html>